



シルバー ふじえだ

平成29年1月20日

第56号

発行

公益社団法人

藤枝市シルバー人材センター

藤枝市藤枝五丁目3番20号

☎054-641-5565

会員数 男 661名・女 334名

計 995名（1月1日現在）

印刷 株式会社石垣印刷

躍進するわがまち



シルバー会員の活躍 知識・経験を活かして、地域社会に貢献

新年のご挨拶



業務の拡大を図り

新会員の加入促進に努める

理事長 大井 市郎

新年 明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

シルバー人材センターをご利用されている関係の皆様には、平素より深いご理解と温かいご支援を頂いており、新年を迎えて、改めてお礼を申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、会員の皆様には、今年も地域社会に貢献するセンターの事業に参加され、生きがいと働く喜びをもって、ご活躍頂きたいと思っています。

特に藤枝市は本年4月より、新たな事業として「介護予防・日常生活支援総合事業」を実施します。

センターとしては、この事業の「訪問介護サービス」部門の業務に参入して、業務の拡大に努めると共に、新しい会員の加入促進を積極的に推進したいと思っています。

少子高齢化社会の中でシルバー人材センターは、高齢者の知識・経験を活かし、社会の活力を維持していくために大切な役割を担っています。また、会員の安全・適正就労に心掛けながら、市民に愛され、信頼されるセンターとなるように、全会員、役職員一丸となり、努力したいと存じます。

年頭に当たり、皆様のご健勝とご多幸を、心からご祈念申し上げます。

三委員会が取組む 今年の“重点目標”

平成 28 年度のシルバー事業は、会員の皆さんの協力を頂き、順調に推移しています。

平成 29 年の新しい年を迎え、今までの歩みを更に充実させ、センター全体の事業内容をより活発にしていきたいと考えています。

会員の皆さんも、今年のライフワークをそれぞれお考えの事と思いますが、シルバー事業についての要望や提案など、ご意見をお気軽にそれぞれの専門委員会や事務局にお寄せ頂きたいと思います。

私達シルバー人材センター会員は、自主・自立・共働・共助の信念で、センター事業に誇りと生きがいをもって活躍しています。今年も、素晴らしいセンターになるよう努力していきましょう！

事業推進委員会

「地区会などで会員同士の

絆・仲間づくり」

市民生活をサポートする

シルバー事業を活発に

今年の事業推進委員会の計画は、センター全体の絆を太くすることに努め、会員同士・会員と地域・そして会員と事務局との連携をより親密にして、市民の要望や地域のニーズなどに、十分応えられる事業活動を推進したいと思います。

会員同士の絆を深めるため、各地域の班・職種班・そして事務局との連携をとりながら、次の事業に取り組めます。

＊各種技能講習会の開催

＊会員の技能向上と安全管理

＊地区懇談会の開催

＊会員の仲間づくり

＊身近にあるシルバー事業の開拓

＊地域のイベントに参加協力
皆さんの積極的なご参加とご協力をお願いします。

委員長 小柳津茂弘

普及啓発委員会

「皆さんに愛される

広報誌を目指して」

28 年度も読み易い広報誌を、と努力してきたが、実際に愛読されている会員の方は 50% にも満たない。どうすれば良いのか悩んだ。

すぐに解決出来ないまでも少しずつでも変わっていければと、次のようなことをポイントに進めたい。

＊より読み易い内容の広報誌にし、愛読者の増加をはかる。

＊広報誌は会員の皆さんのためのものであり、会員の意見や質問、趣味や特技などの記事を広く募集する。

＊会員同士の連携や交流を深めるために、地区会や班長会を活発に推進し、その中で出た意見や要望をタイムリーに掲載していく。

＊シルバー人材センター第一回グラウンドゴルフ大会を開催し、会員の親睦を図る。

委員長 大島 靖之

安全・適正就業委員会

「事故のない職場づくり

を目指して」

昨年の刈払機による物損事故は、全事故の 80% 強と多く、傷害事故も 2 件あり、いずれも重い事故でした。

そこで 29 年度の重点課題として「草刈り作業による事故防止対策の強化」を実施していきます。具体的には

＊安全教育・適正作業・現場の安全対策等の研修や安全パトロールを強化していく

特に、草刈り、植木剪定等のグループ作業の安全対策は順守されているが、一般家庭での作業依頼事故防止のため、現場を重点パトロールする。

＊物損事故対策として、飛散物の少ない刈払機の採用検討

この刈払機は、石をはねないという特徴があり、各地のシルバー人材センターでも採用されている。

＊安全標語の募集

昨年と同様、七月の「安全就業強化月間」に行う。

委員長 原川 弘

介護予防・日常生活支援総合事業

買物や掃除の家事支援など

当センターは、本年4月から藤枝市が実施する介護予防・日常生活支援総合事業のうち訪問サービスAに参入します。

この事業は、介護保険で定めた比較的軽度の要支援1・2に該当する方の自宅を訪問し、**買物、調理、掃除などの家事等**、日常生活の支援を行い利用者の自立を踏まえた支援を行なうものです。

このサービスはこれまでの基準よりも緩和されたもので、サービス提供者は、一定の講習会の受講者であれば可能です。

シルバー人材センターが、生活支援サービスの「担い手」としての役割を持つことは、高齢者自身の健康維持や介護予防につながり、社会全体の介護負担の軽減に貢献することにもなります。

さらに、新たな就業機会を通じた会員拡大にも繋げていきたいと考えています。

生活支援担い手養成講習会

生活支援担い手養成講習会は、3月中旬に、講義8時間（2日間）・実地研修2時間を予定しています。

講習を受けた会員は、誰にでもできる簡単な家事（掃除・ゴミの分別やゴミ出し、洗濯干し・取り込みと収納、買物代行、簡単な調理等）を担当します。

多くの会員の参加をお待ちしております。

◆講習内容

- ①介護予防・健康づくりに関する講義
- ②生活支援サービスのについて（家事援助の方法）
- ③認知症の正しい理解と接し方に関する講義
- ④サービスを提供する際の基本的な心構えについて



病児保育事業について

センター2階託児室

藤枝市子ども・子育て支援事業計画「ふじえだ子ども・子育てスマイルプラン21」の事業で病児保育事業があります。

これは、保護者の子育てと仕事の両立を支援するために、病中の子どもを預かり、必要な保育や看護を施す事業です。

この事業にシルバー人材センターが担い手として、参入することになりました。

本格的には、平成29年4月からですが、保護者からの要望に応えるため、昨年の11月1日からセンターの2階託児室を使い開始されました。

経験豊かな看護師を中心に行っています。

一時預かり保育や病児保育など子育て支援として、シルバー人材センターの活躍が期待されています。

病児保育とは？

子どもの急な発熱などによって在籍する保育所などでの集団保育が困難となり、かつ保護者の就労等の理由から、看護ができない時に保護者からの委託を受けて、専用の保育室で一時的に預かることです。

ただし、病中であっても、重篤な基礎疾患がある場合や特定の感染症を発症した場合は、本事業は利用できません。

なお、本事業の利用については、医師の診断が必要です。

★病児保育事業の開始時期

平成28年11月1日（火）～

★利用対象となる子ども

- ・保護者が就労等の理由で家庭での保育や看護が困難な場合
- ・藤枝市内に居住又は市内の認可保育所・認定こども園・幼稚園等に在籍
- ・生後6か月から満6歳までの子ども

★保育場所

- ・藤枝市シルバー人材センター2階託児室
- ・住所…藤枝市藤枝5-3-20
- ・連絡先…054-641-5565

「先進地の視察」 名張市シルバー人材センターを訪問

本年度の役員による「先進地視察研修」は、①会員拡大と普及啓発活動の取り組み、②安全・適正就業の取り組み、③介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みについて、この3項目を研修課題として、活発に事業活動を実施している「三重県・名張市シルバー人材センター」を視察しました。

歴史文化の

豊かな都市

名張市は、三重県の西部に位置し、万葉の昔から、伊勢への要衝地として栄え、また観光地として赤目四十八滝などの自然環境の良い、歴史文化の趣きある街でした。

近年は、大阪や名古屋を結ぶ接点の都市として、昭和40年代に大規模な住宅地開発が進められ、現在の人口は八万余人と大きく発展しています。

名張市シルバー人材センターの概要

センターの組織は、会員が約一千人・事業実績が約五億円で、私たちのセンターとほぼ同

じですが、特色は、地区組織が市内の各中学校区ごとに「基幹班」を設置されており、この基幹班の下に地域班が編成され、全会員が参加しています。

また、職域班も剪定班・除草班・福祉家事援助班・就業先別職域班を編成して、地域に密着した活動が推進されていました。

①会員拡大と普及啓発の取り組み

新会員の入会募集は、毎月第3火曜日・市民センターで開催しているほか、各地域で出張入会説明会を開催しています。

また、イベント会場などにシルバーコーナーの開設や、独自事業で毎週日曜日に農産物を販売する「ふれあい朝市」を開き、こうした機会に会員募集のパンフレット



などを配布して、新会員の加入促進のPRに努めていました。

また、一般市民への普及啓発活動としては、センターの会報「ゆうゆう」や市の広報、地元の情報誌なども活用して、会員募集に努めていました。

②安全・適正就業の取り組み

事故防止の新記録を目指して

作業時、事故のないように、安全・適正の就業に細心の注意をして、事故防止の安全確認を

重点的に取り組み、剪定班長会議や除草班長会議を毎月開催し、また、剪定・除草・家事援助などの実技講習会（研修会）などを開催して、安全委員会や安全委員の個別パトロールを実施していました。

こうした安全活動の成果として、平成28年度は、傷害事故は266日・賠償事故は301日の無事故記録を達成しましたが、一件の事故でこの記録が途絶えたことを点検して、事故の再発防止に取り組んでいました。

③介護予防・日常生活支援総合事業の取り組み

高齢者の家事援助 日常生活の維持向上

名張市のセンターは、平成27年度から市の受託事業として、介護予防・日常生活支援総合事業を実施しています。

この事業の内容は、要介護1・2の認定者など、日常生活の維持向上が見込める高齢者を対象にして、介護保険で提供される範囲内の家事援助を行なっています。

・援助事業の内容

＊買い物・調理・洗濯

＊日常的に使用している場所

(居室・台所・トイレ・浴室など)

の掃除

＊話し相手など。

また、センターが独自の福祉・

家事援助サービス業として、福

祉施設や一般家庭への支援や、

軽度生活援助事業（市から委

託）も実施しており、こうした

介護支援に従事する会員は、事

前研修（認知症サポート養成講

習）などの受講が必須条件と

なっています。

★視察研修に参加して★

名張市シルバー人材センターでは、安全推進委員の専任体制で、会員の事故発生の原因究明と対策・安全啓発教育指導・事故原因の分析等に取り組まれていました。また現場においては、安全パトロールを年間15回程実施されていました。

充実した班編成で、全ての業務を協力して推進

理事（安全・適正就業委員長） 原川 弘

特に注目したことは、職群班の組織でした。剪定・除草・家事援助などの全てに、班が設けられ、その班長さんが全責任を持った運営「受注調整・安全対策・会員の動向把握」が成されており、これは班長・副班長・安全指導員の活動と協力で安全就業が出来ていました。

最後に平成28年度・事故報告で無事故継続日数が、傷害事故266日・賠償事故は301日で途絶えたので、無事故継続に再挑戦中でした。「継続が途絶えた事故は、草刈り作業中の小石飛散による車の窓ガラスの破損でした。」

女性班長・副班長

女性会員が大活躍

家事援助など家庭内における食事作り・洗濯・掃除など作業に女性会員が多く活躍しています。

この家事援助業務をスムーズに運営するため、地域班に女性の班長・副班長を選任して、業務の効果を上げていました。

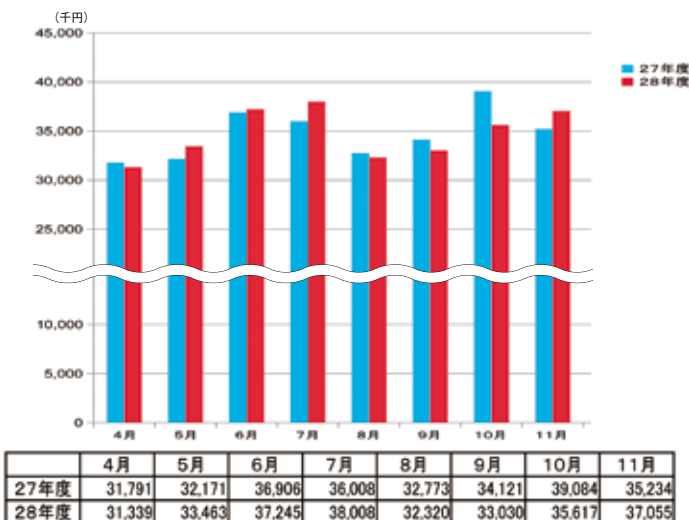
藤枝市シルバー人材センター

本年度（中間）の事業実績

平成28年度・4月から11月までの事業実績は、前年に対比すると、受託件数・就業延べ人数は少し伸びており、契約金額はほぼ同額で、下段の表のような結果になります。

また、今まで受託していた業務の一部が県シ連の窓口扱いとなる派遣事業に移行しているものもあり、全体としては順調に推移しています。

月別就業実績の状況



寿会（互助会） 健康・趣味の活動

会員の健康・趣味と明日への活力を醸成する互助会活動が、大変活発でした。

寿会（互助会）という名称で、総会や親睦旅行などの全体行事のほかに、十三のグループがあり、親睦・融和の会となっていました。

会員の活動報告



新しく地域交流の拠点としてオープンした「藤枝地区交流センター」(五十海3丁目)で、11月12日(土)・13日(日)に開催された『藤枝宿ふれあいまつり』に、当センターとして参加し、会員(互助会クラブ)の活動発表やシルバー人材センターの普及啓発を行いました。

当日は、会員が収穫したもち米で餅つき、農産物の販売、書道部の作品展示、ハイキング部の写真展示や、グラウンドゴルフ部のホールインワンゲームで子どもたちと球技を楽しみました。

多数の来場者があり、大盛況でした。



餅つき



農産物販売



グラウンドゴルフ部



ハイキング部 写真展示



書道部 展示



もち米収穫



サツマイモ収穫

会員親睦旅行

楽しかった岐阜への旅

本格的な冬到来も間近、少し肌寒い快晴の旅行日和の11月26日（土）にシルバー互助会の恒例のバス旅行が実施された。

会員になって10年、仕事の都合などで、なかなか参加できず今回で2回目の参加となる。

今年は「長良川温泉と信長ゆかりの岐阜公園」の日帰り旅行。

バス4台参加者126名。

藤枝岡部ICから新東名高速道路に入り一路岐阜県へ向かう。各務原ICで一般道路に下りて長良川温泉へ、所要約4時間のバスの旅である。

長良川沿い・金華山の麓にある「ホテルパーク」で昼食をとる。

このホテルは創業120年、川端康成ゆかりの宿で、川端康成の写真や記念の品などが展示されている。

126名が一堂に会してとる昼食の眺めは壮観で感動すら覚える。

える。

ここでカラオケを歌自慢が次から次と披露する。

昼食後は約1時間30分の自由行動で、次の3つの中から各自選択して観光を楽しむ。

☆ロープウェイで岐阜城

☆うかいミュージアム

☆川漆の近くに発展した川原町

私は岐阜城の見学にした。

ロープウェイ代往復980円。



「岐阜城は、信長が天下統一の本拠地とした居城で、標高329mの金華山の頂にあり、最上階からは、長良川がゆったり流れる濃尾平野を一望することができる」のだが、見学時間が短くて、岐阜城内に攻め入ることができず、涙をのんで城門の前で撤退。

72歳のシルバーには、1時間30分で山城を攻めるのは無理だった。

互助会からの経費補助もあり、参加費以上の実益のある旅行である。バスの中で会員同士の交流もでき、楽しい一日であった。

（藤枝東地区会員…田中英雄）

安全標語 最優秀受賞者



青島北地区 鈴木喜久雄さん

受賞者 鈴木さんの一言

「あなたです」という呼びかける言葉が頭に浮かび、そのあとは閃きで作りました。この標語で少しでも事故が減少すればうれしいです。

◎最優秀の安全標語

あなたです
作業現場の模範生

原稿募集のお願い

広報誌「シルバーふじえだ」及び「藤薫」に掲載する記事を募集しています。

どんなことでも、何でも結構です。

例えば

○入会しての感想

○就業の体験談

○講習・講演会に参加して

○互助会親睦旅行に参加して

○思い出（子供のころ、青春時代、子育て時代、孫のこと）

○趣味（短歌、俳句、川柳、写真、絵手紙など）

○その他、健康法、旅行記、ペットのことなど

◆原稿は800字以内

◆掲載分に対して記念品を贈呈します。

原稿は、シルバー事務局に郵送するかご持参ください。



お知らせ (事務局・互助会)

接遇の研修会

マナーは、自分とみんなの為の立ち居振る舞い、生活の仕方であると言われています。

ルールは、規定・規約・基準という意味を持ちます。規定・規約となれば必ず守らなければならぬ厳格な意味合いを持ちます。マナーは、ルールを多少緩くしたものと受け止める事も出来ます。この両者は、日常の社会生活の中でお互いが気持ちよく、円滑に生活して行くために、最も大切なものであると思われまふ。



藤枝市シルバー人材センターでは、社会ルール・マナーを再認識するため、駐車場の管理や送迎運転や除草作業、並びに受付などの業務に携わる会員の方々を主体に接遇の研修会を10月に実施しました。

大勢の参加を得て有意義な研修でありましたので、その要旨を会員の皆様にご紹介します。

講師 (株)浜松ビジネススクール

顧客満足度を高める接客の心得、実践講座

親しみやすさと好印象を与える5つのポイント

①挨拶

- ・あ…明るく元気に！
- ・い…いつも
- ・さ…さきに
- ・つ…続けて

②笑顔

- ・心 表情は
- ・目 口 そろって
- ・目 いること

③身だしなみ

- ・清潔感…見た目の清潔感
- ・機能性…動きやすい、作業しやすい
- ・信頼性…相手からの信用・信頼

④言葉遣い

- ・丁寧語…です、ます
- ・クッション言葉…恐れ入りますが、申し訳ございませんが

⑤態度

- ・お辞儀の仕方…
- ①腰からお辞儀する
- ②言葉とお辞儀は別ける(先語後礼)
- ・方向の示し方…手のひらで示す



背筋を伸ばして、腰から丁寧にお辞儀する

仕事では、会員一人ひとりがお客様と接します。失礼が無いよう言葉や行動に注意です。

会員紹介カードについて

「一人一会員拡大運動」は、皆様のご協力により一定の成果を上げましたが、まだ会員の増強は必要です。それぞれの会員が、地域交流の中で加入促進に格段のご協力をお願いします。

〔編集後記〕

普及啓発委員長
大島 靖之

日本人の平均寿命は、年々上昇していますが、現実には80歳で約40%が認知症になっている状況であるという。

「やあやあ久しぶり、どうだい最近」は「お陰様で会社も定年退職し、今は悠々自適にやっているよ」とこれが危ない。嘘だと思ふなら、悠々自適をやつてごらんさい。間違ひなく5年でボケるから…とある本に書いてあった。悠々自適を捨て、シルバー人材センターの会員になつて、仲間づくりと社会参加により、これからの長い人生を幅広く一緒に過ごしませんか、入会をお待ちしております。